

令和 3 年度 1 0 月までの取組の報告

| | |
|---|--|
| 部会名 | 地域の担い手づくり部会 |
| 部会の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくりの担い手育成 育成サイクルのスキーム作り。 求められる人材像の共有。 育成に向けたシステムの検討、構築。 ・ 育成システムの普及啓発 各団体への啓発、実践の後押し。 研修の企画運営。(育成メニューの検討) コミュニティビジネス等の調査、研究。 ・ 移住者、定住者の増加 ひとが育つまち益田ウェブサイトで、魅力や取組の情報発信。 |
| ターゲット | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域自治組織等現在中心となって地域づくり、地区活動を進めている方 (マネージャー) ・ 会長を支え、ともに活動を作っていく役員、部会長等 (プレイヤー) ・ 益田市外の方で益田市への移住、定住に興味や希望のある方 |
| 令和 3 年度 進捗状況・ 前年度から の改善点 ※実績数値 が分かるよ うに記載。 | <p>横断目標 社会変化に対応できる持続可能なまち 基本施策 2 協働のまちづくりの推進</p> <p>①市民活動支援センター</p> <p>○団体PRシート (目的) 外の団体の活動・想いを知る。今まで交流の薄かった団体とつながるきっかけをつくる。 団体の振り返りの時間をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体PRシート作成 10 団体の掲載済 ※作成するにあたり取材に出向いた。 ・ 情報発信 <p>○相談・利用者件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 1 日～10 月 8 日現在 89 件 主な相談内容等： <ul style="list-style-type: none"> ・ 設立登記について ・ 事業報告書について ・ 活動について ・ 印刷機利用 ・ 取材 13 件 <p>②まちづくりラウンドテーブル (MRT)</p> <p>(目的) ・ 地域課題の解決を図るための市民と行政の対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりに関わる諸団体の取り組みを学び合う機会の提供 |

- ・特定の地域課題に対して、まちづくりに関わる諸団体間で連携をして解決策を考える機会の提供
 - ・9/19 テーマ「地域づくり団体を担う若い世代、行政、有識者との語り合い」
- 話題提供者：二条地区：Ni jyou+ARCH
 鎌手地区：かまで地域づくり協議会 魅力づくり部会
 都茂地区：もてなす都茂心
 北仙道地区：北仙道の明日をつくる会 つながり部会
- 参加者数：地域6名、行政2名、大学1名、ユタラボ2名 計11名

基本目標VI 人と人がつながり、支え合うまち

基本施策3 持続可能な地域づくりの推進

①地域自治組織を中心とした地域づくりの推進

- ・日本遺産認定記念スタンプラリー事業（ますだ地域づくり協議会）
⇒協働のまちづくり事業
- ・地域自治組織座談会
- ・県立大生との交流事業（万葉の里 高津未来の会）
- ・NIGIWAI チャレンジ（吉田地域自治協議会にぎわい部会）

| 指標名 | 現状値（R2年度） | 目標値（R7年度） |
|-------------|-----------|-----------|
| 地域自治組織設立地区数 | 17地区 | 20地区 |

②地域魅力化応援隊員連絡調整会議

（目的）地域住民他関係機関との連携を促進するにあたり、関係各課が本年度進めようとする事業や計画について、情報共有を図るため。

- ・4/9 実施（出席者34名）
 - ・地域自治組織について、応援隊員の役割について
 - ・6/29 実施（zoomを利用、出席者20名）
 - ・各地域自治組織の令和3年度の活動計画等共有
 - ・今年度、今後の活動に活かせる種を見つける
- ※集まるのが困難な中、オンラインで開催。オンライン操作を経験することで地域での活用が出来るようになる。

②地域づくり人養成講座（オモイをカタチにワークショップ）

- ・8/19 実施
- 参加者数 16名（男性：5名 女性：11名）

| 指標名 | 現状値 (R2 年度) | 目標値 (R7 年度) |
|---------------|-------------|-------------|
| スキルアップ講座の参加者数 | 47 人/年 | 130 人/年 |

③協働推進ネットワーク庁内会議

- ・第1回 8/25 開催 今年度の予定等 (出席者数: 15 名)
- ・第2回 10/8 開催 テーマ「身寄りのない方の死後の問題」(出席者数: 11 名)

横断目標 社会変化に対応できる持続可能なまち

基本施策1 次代を担う人材の育成・確保の推進

| 指標名 | 現状値 (R2 年度) | 目標値 (R7 年度) |
|------------------|-------------|-------------|
| ひとづくり・定住専用サイト閲覧数 | 389,600 回/年 | 400,000 回/年 |

【ひとが育つまち益田による情報発信】

- 益田で暮らしている方々の暮らしを可視化するとともに、益田のひとの生き方だけではなく、暮らしや暮らしの価値を可視化する。
- UI ターン者サポート宣言企業の取材を引き続き実施し、仕事の魅力を伝える。
- 記事の数だけを増やすのではなく、記事の内容を深め、共感を呼び、たくさんの方々にシェアして頂き、ひとづくりに関する情報を拡散する。

基本目標VI 人と人がつながり、支え合うまち

基本施策4 移住・定住の促進

| 指標名 | 現状値 (R2 年度) | 目標値 (R7 年度) |
|---------------|-------------|-------------|
| 県外からのU・Iターン者数 | 162 人/年 | 230 人/年 |

【豊かな暮らしトークセッション】

- 益田での暮らしを伝えるだけでなく、豊かな暮らしを伝える相談会を実施す

る。(全4回開催予定)また、実施後に益田市に来てもらうために、産業支援センター及び企業と協働し、益田暮らし体験ツアーを実施する。

- ・第1回：ゲストスピーカー（田ノ原牧場：三宅ご夫妻）
15名参加（21名申込）
- ・第2回：ゲストスピーカー（ユタラボインターン：三輪彩紀子）

【関係人口創出事業】

地方移住や地方回帰の情勢の中、県外在住者が実際に益田で活動等を行い、まず暮らしを体験し、対話を通じた関係性を築き、関係人口の創出及び移住・定住へ繋げる。事業実施後において、受入団体が主体的に関係人口を創出できるような仕組みづくりを行う。

- ・3/27：益田暮らしツアー[オンライン]：都茂地区
参加者数：7名
- ・9/20～9/23：就農体験①：竹内ぶどう園・空き家DIY・地域活動[食の体験]
参加者数：2名
- ・9/26～9/29：就農体験②：豊田葡萄園・地域活動[神楽体験]・中学生と活動
参加者数：2名
- ・10/3：教育ツアー[オンライン]：西益田地区
参加者数：30名

○受入団体数：15団体

○参加者数：41名

今後の予定

- ・10/24～10/26：就農体験③～アグリみと
- ・12月：就農体験2団体他○件

横断目標 社会変化に対応できる持続可能なまち

基本施策1 次代を担う人材の育成・確保の推進

| 指標名 | 現状値 (R2年度) | 目標値 (R3年度) |
|---------------------------|------------|------------|
| 益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数と満足度 | 269人/年 | 300人/年 |

| | |
|------------------|---|
| <p>成果</p> | <p>情報発信の効果によるHP閲覧件数</p> <p>令和元年6月1日～令和2年3月31日時点 全体【ユーザー数：<u>16,955 ユーザー</u>、ビュー数：<u>389,600 ビュー</u>】 平均【月/ユーザー数：1695.5人、月/ビュー数：38,960回】 記事投稿数 <u>46 記事</u></p> <p>令和2年4月1日～令和3年3月31日時点 全体【ユーザー数：<u>46,136 ユーザー</u>、ビュー数：<u>794,770 ビュー</u>】 平均【月/ユーザー数：3,844.6人、月/ビュー数：66,230.8回】 記事投稿数 <u>90 記事</u></p> <p>令和3年4月1日～令和3年9月30日時点 全体【ユーザー数：<u>29,714 ユーザー</u>、ビュー数：<u>382,252 ビュー</u>】 平均【月/ユーザー数：4,952.3人、月/ビュー数：63,708.6回】 記事投稿数 <u>9 記事</u></p> <p>市民活動支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金情報、活動報告以外に団体独自の発信している情報をシェアすることで互いに発信の幅が広がったと共に閲覧数も増えた。 <p>まちづくりラウンドテーブル (MRT)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の取組を共有し、意見交換をしたことで地区を越えたつながりが生まれた。 |
| <p>課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体（地域自治組織、NPO法人等）同士及び、団体と行政、その他関係機関との関係づくり。 ・地域活動団体の担い手が不足しているため、担い手となる人材の発掘。 ・地域活動団体のスキルアップ。 ・情報発信の幅が広がったが、そのあとの先を把握できてない。 <p>ひとが育つまち益田 HP について</p> <p>各部会において取組を進め、たくさんのひとから共感を得られるような内容の記事を作成し、情報拡散を通して、益田の魅力や活動を届けることが必要。</p> |

| | |
|--------------------------|---|
| <p>今後の取組方針・計画</p> | <p>総合振興計画の横断目標にある基本目標Ⅵ、人と人がつながり、支え合うまちを目指すため、下記に示すまちづくりラウンドテーブル（MR T）、地域づくり人養成講座等の取組を引き続き実施する。</p> <p>【市民活動支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体PRシートの作成。 ・交流会を12月2日開催予定。 ・活動支援（助成金、イベント参加） ・ますだ産業祭（オンライン出展） <p>【地域魅力化応援隊員会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月29日実施予定。 ・令和4年3月実施予定。 <p>【まちづくりラウンドテーブル（MR T）】 ※ユタラボ業務委託内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回目以降、内容をユタラボと協議 <p>【地域づくり人養成講座】 ※ユタラボ業務委託内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月に実施予定。 <p>【協働推進ネットワーク庁内会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に委員以外に参加を呼びかけ実施予定。 <p>【大学連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正大学の学生の地域実習を9月27日～10月2日 5泊6日で予定。 →新型コロナウイルス感染症対策のため令和4年3月に延期 <p>【ますだ暮らし研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月実施予定。 ・市内の高校卒業予定者対象とした研修会を行う。 →就職・進学に関わらず、同級生同士の繋がりを作り市内での定住を促進する。 →益田を離れる人がこれからも益田と繋がりを持ち続けられるよう、益田で暮らす価値を考え、Uターンを促進する。 |
| <p>特記事項</p> | <p><u>情報発信に寄与した取り組み</u> 島根県しまね暮らし推進課主催：島根県市町村定住支援員研修会にて関係人口の取組紹介を実施</p> |

